

# 土地改良事業計画概要書

農村地域防災減災事業（水質保全対策事業）

おおやま  
大山地区

徳島県

# 目 次

I	土地改良事業計画変更の内容	1
II	土地改良事業計画の変更を必要とする理由	1
III	変更後の計画概要	1
第1章	目的	1
第1節	目的	1
第2節	地積	2
第2章	地域の所在及び現況	2
第1節	所在	2
第2節	現況	2
(1)	地形	2
(2)	気象	3
(3)	営農状況	4
(4)	用水状況	4
第3章	基本計画	5
第1節	一般計画の概要	5
(1)	受益面積	5
(2)	土地利用計画	5
第2節	主要工事の概要	5
第3節	環境との調和への配慮	5
第4章	工事又は管理の要領	5
第5章	換地計画の要領	5

第6章	費用の概算	6
第1節	概算総事業費	6
第2節	事業費の負担内訳	6
第7章	効用	6
第1節	想定被害額	6
第2節	効 果	6
第8章	他の事業との関係	6
第9章	計画概要図	7

## I 土地改良事業計画変更の内容

当地区は、国営吉野川下流域農地防災事業の受益地であり、吉野川から取水される水源を活かして農業が行われている。しかし、都市化・混住化による人口増加と生活様式の変化によって発生する農業用水の水質悪化に伴う農産物の収量減及び品質低下、既存管水施設の老朽化に伴う機能低下等の原因により、施設の維持管理費及び労力が年々増加している。そのため、既存の管水施設の更新と統合整備を行うことにより、用水の水質改善(用排分離)や施設の機能回復、湛水被害の未然防止や被害軽減を目的とし安定的な農業経営の確立を図るため事業を行うものであるが、国営事業で施工した接続水路、給水槽等の関係で、受益面積及び事業費の減が生じた為、変更を行うものである。

## II 土地改良事業計画の変更を必要とする理由

### (1) 事業目的別面積の変更

工種	変更前	変更後	増減
送水管路工	132.4ha	107.5ha	△ 24.9ha
導水管路工			
揚水機場工			

### (2) 主要工事計画の変更

工種	変更前	変更後	増減
送水管路工	22,000m	16,500m	△ 5,500m
導水管路工	1,700m	0m	△ 1,700m
揚水機場工	4箇所	4箇所	0箇所

### (3) 事業費の変動

工種	変更前	変更後	増減
送水管路工	848,000千円	595,194千円	△ 252,806千円
導水管路工	88,000千円	0千円	△ 88,000千円
揚水機場工	479,000千円	384,428千円	△ 94,572千円
測量試験費	113,000千円	136,085千円	23,085千円
用地及び補償費	83,000千円	34,596千円	△ 48,404千円
工事雑費	32,000千円	5,847千円	△ 26,153千円
(全体)	1,643,000千円	1,156,150千円	△ 486,850千円

## III 変更後の計画概要

### 第1章 目的

#### 第1節 目的

##### (1) 必要性

当地区は、国営吉野川下流域農地防災事業の受益地であり、吉野川から取水される水源を活かして農業が行われている。しかし、都市化・混住化による人口増加と生活様式の変化によって発生する農業用水の水質悪化に伴う農産物の収量減及び品質低下、既存管水施設の老朽化に伴う機能低下等の原因により、施設の維持管理費及び労力が年々増加している。そのため、既存の管水施設の更新と統合整備を行うことにより、用水の水質改善(用排分離)や施設の機能回復、湛水被害の未然防止や被害軽減を目的とし安定的な農業経営の確立を図るため、事業を行うものである。

##### (2) 緊急性

管路及び揚水機場の整備によって、作物生産の増加、営農労力及び維持管理労力の低減を図り、競争力のある農業経営の実現が急務となっている。

第2節 地積

受益面積

(単位:ha)

田	畑	樹園地	その他	計
102.7	4.0	0.8	—	107.5

第2章 地域の所在及び現況

第1節 所在

事業名	地域	
農村地域防災減災事業(水質保全対策事業)	大山	板野郡板野町・上板町

第2節 現況

(1) 地形

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高				
		傾斜	1/1000	1/1000 ~	1/100 ~	1/20 ~	1/11.5 以上	計	3°	3° ~	8° ~ 15°			15° ~	20° 以上	計	最高 m	最低 m
											8° ~10°	10° ~15°	8° ~15°					
農村地域防災減災事業(水質保全対策事業)	面積(ha)		102.7				102.7	4.8							4.8	10.0	6.00	
	比率(%)		96				96	4							4			

## (2) 気象

## 1 一般気象

観測所名	徳島観測所	かんがい期	4月～10月	非かんがい期	11月～3月	計 又は平均		備考	
観測期間	昭和20年～令和3年								
平均気温 (℃)		22.2℃	8.9℃	16.8℃					
降水量	平均(mm) 基準年(mm)	179	67	133					
降水日数	平均(日) 基準年(日)	17.0	17.4	17.2					
根雪期間									
無霜期間		(3月24日～11月30日)		252日					
最多風向		SSE	最大風速	11.5m/s					

## 2 特殊気象

観測所名	徳島観測所															備考
観測期間	昭和20年～令和3年															
	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			
	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	430	H23.09.20	1/260	320	H25.09.15	1/43	314	H26.08.02	1/39	278	H16.10.20	1/21	217	S55.10.13	1/7	
最大時間雨量 (mm)	91	H21.08.10	1/50	87	S25.09.03	1/38	86	H28.09.20	1/36	85	S54.09.30	1/33	82	S49.07.07	1/27	
最大4時間雨量 (mm)	205	S25.09.03	1/135	167	S54.09.30	1/36	149	S20.06.06	1/19	143	S49.09.09	1/15	141	S55.10.13	1/15	
最大連続雨量 (mm)	549	S40.09.14 ～09.17	1/35	509	S51.09.08 ～09.12	1/23	501	S47.09.06 ～09.08	1/22	391	S43.09.24 ～09.30	1/9	382	S36.06.24 ～06.29	1/8	
最大連続干天日数 (日)	63	S63.10.30 ～12.31	1/70	54	S42.12.01 ～S43.01.23	1/23	51	S31.11.11 ～12.31	1/17	48	S61.01.01 ～02.17	1/12	45	S48.02.23 ～04.08	1/8	

(3) 営農状況

市町村名	板野町		上板町				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)	672		527				1,199			
区分 作物名	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)		
水稲	250	485	393	496			643	491	2.4%	総耕地面 積：中 国四国農林 水産統計年 報  (作物別作 付面積・単 収)農林 水産統計年 報H30～R2
なす	4	5,550	1	3,533			5	4,542	22.2%	
レタス	3	1,900	13	1,985			16	1,943	9.5%	
にんじん	343	5,539	69	4,800			412	5,170	25.2%	
だいこん	4	6,125					4	6,125	29.9%	
日本なし	0.7	2,220					1	2,220	10.8%	
計	605		476							
市町村別 延作付率(%)										

(4) 用水状況

事業名	項目		箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農村地域防災減災事業(水質 保全対策事業)	自然	用水路							
		水門							
	機械	用水路	1	102.7	パイプライン	φ200～φ75 L=16,500m		水路の老朽化	
		水門							
		揚水機	4		渦巻きポンプ	φ250～φ150		パイプライン化のため	
		計	1式	102.7					

第3章 基本計画  
 第1節 一般計画の概要  
 (1) 受益面積  
 受益面積 107.5ha

(2) 土地利用計画

事業名	土地利用別 市町村別	耕地 (ha)								山林 (ha)		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)		普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	茶園	その他の樹園地	用地林	薪炭林					
		1毛作田	2毛作田以上													
農村地域防災減災事業(水質保全対策事業)	上板町 板野町	102.7	-	4.0	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	107.5	

第2節 主要工事の概要  
 ・大山  
 送水管路工 L=16,500m  
 揚水機場工 渦巻ポンプ×8台 低圧受電 機場4箇所

第3節 環境との調和への配慮  
 大規模な地形改変は極力避け、掘削土等は再利用し、現状機能回復に努める。  
 既設管路敷きは極力存置し、パイプラインの水は支障のない限り、排泥工設置部及びパイプライン末端部において既設の管路に戻し、保水性を有する空間の担保を図る。

第4章 工事又は管理の要領  
 当該事業で建設した下記施設は、板名用水土地改良区が適正な維持管理を行う。

- ① 送水管路工
  - ・大山
  - 管種 硬質塩化ビニル管、ダクタイル鋳鉄管
  - 管径 VUΦ75～Φ200m, 鋳鉄管Φ75～Φ100mm
  - 延長 L=16,500m
- ② 揚水機場工
  - ・大山
  - 機器 渦巻ポンプ
  - 口径 Φ150mm × 2箇所 Φ200mm Φ250mm
  - 出力 11.0kW×2台 × 2箇所 18.5kW×2台 22.0kW×2台
  - 低圧受電 機場4箇所

第5章 換地計画の要領  
 該当なし。

第6章  
第1節

費用の概算

概算総事業費

当該施設の施工に要する費用は、次のとおりである。ただし、物価変動及び工事の実施状況などにより変動する場合がある。

区 分	事 業 費 (千円)			備 考
	変更前	変更後	増減	
工 事 費	1,415,000	979,622	△ 435,378	
その他経費	196,000	170,681	△ 25,319	測定・用買補償費
工事雑費	32,000	5,847	△ 26,153	
小計	1,643,000	1,156,150	△ 486,850	
事務費	82,000	57,650	△ 24,350	
計	1,725,000	1,213,800	△ 511,200	

第2節

事業費の負担内訳

	国	県	板野町/上板町	その他
事業費 (%)	50.0	35.0	7.5	7.5
工雑・事務費 (%)	0.0	100.0	0.0	0.0

第7章  
第1節

効用

想定被害額 (単位:千円)

	被 害 額
作 物	
農 地	
農業用施設	※該当なし
公共施設	
家屋その他	
計	0

第2節

効果

(単位:千円)

	変 更 前	変 更 後	増 減
作物生産効果	92,802	215,686	122,884
品質向上効果	-	1,778	1,778
営農経費節減効果	18,565	8,570	△ 9,995
維持管理費節減効果	3,117	△ 19,145	△ 16,028
更新効果	101,133	-	△ 101,133
災害防止効果	43,649	45,153	1,504
水源かん養効果	28,220	25,227	△ 2,993
国産農産物安定供給効果	-	28,337	28,337
年総効果(便益)額	287,486	305,606	18,120
総事業費	5,092,000	-	△ 5,092,000
妥当投資額	5,388,990	-	△ 5,388,990
総費用(現在価値)	-	5,990,328	5,990,328
総便益額(現在価値)	-	6,867,592	6,867,592
総費用総便益比(投資効果)	1.05	1.15	0.10

第8章

他事業との関係

事業名	事業主体	工期	事業種目	事業量
水資源機構営吉野川下流域用水事業	水資源機構	H2 ~ R7	用水路工	取水工、用水路L=64.4km

